

「高分子科学インタラクティブインターンシップ」海外短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 原田研究室 D2 押切友也

派遣先： Technische Universiteit of Eindhoven, Department of Engineering and Chemistry, Laboratory of Macromolecular and Organic Chemistry and the Molecular Materials and Nanosystems Group

期間： 2007.2.25-2006.3.11

「インタラクティブ大学院教育」プロジェクトに於いて、私は海外短期留学生としてオランダはアイントホーフェンに約 2 週間滞在させていただきました。留学の主な目的は留学先である Eindhoven の E. W. Meijer 先生の研究と我々の研究の複合的物質の合成でした。

Meijer 先生の研究室は 100 人規模という超巨大研究室ということもあり、短期間の留学ではメンバー全員と話す機会は得られませんでした。同室の方々には大変親切に接していただきました。オランダの公用語は当然ながらオランダ語ですが、海外からの研究者がきわめて多いためか、基本的に会話は英語で行われた点も大変有り難かったです。留学して感じたことはやはり文化の違いでした。日本と欧米の違いもちろんですが、Meijer 研は有機溶媒を主として使い、原田研は水系での実験が多いため、設備もそれに特化したものがそろっている点は興味深かったです。滞在期間中先方の研究室の皆様への助力もあり、目的物が得られ最低限の成果はあげられたものと考えております。

上記のような経験は留学の機会なくしては得難いものであり、今後の研究生活にも生かしていければと思います。最後に、このような機会を与えてくださったインタラクティブプログラム、Meijer 研究室の方々、そして様々な面で支えてくださった皆様に心より感謝の意を表します。



Technische Universiteit of Eindhoven